# スタートアップ総合支援拠点事業【新規】

６月補正予算額　100,000千円

担　当　課：商工労働部経営支援課
問い合せ先：０４３－２２３－２７８７

## 概要

**優れた技術やサービスを提供し、新たな市場を切り開くことが期待されるスタートアップの増加や、企業等のイノベーションを促進していくため、スタートアップ、大企業、投資家などの関係者による交流会等を定期的に開催することで、多様な主体との連携により、企業等の成長を促すコミュニティの形成に取り組みます。**

**交流会等の開催　100,000千円**

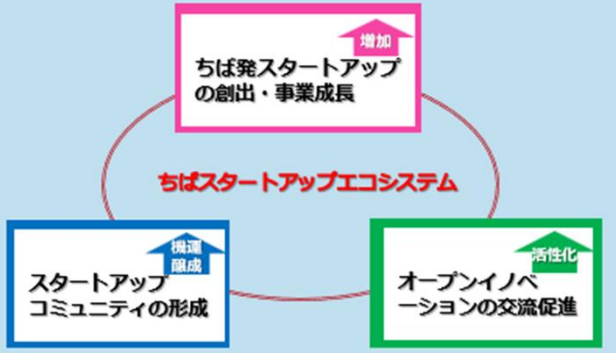
県内のスタートアップと多様な関係者との交流会等を定期的に開催し、関係者間のネットワーク拡大などによるコミュニティの形成や、新たなビジネス創出につながる協業のきっかけづくりなどを進めます。

［実施内容］先輩起業家によるメンタリング、セミナー・講演会、参加者交流会、オープンイノベーションプログラム等
［開催地域］県内３か所で開催（千葉・柏・木更津を想定）
［対 象 者］県内のスタートアップ等（起業を目指す者を含む）、金融機関、大企業、研究機関　等

〔メンタリングイメージ〕

〔セミナー・講演会イメージ〕

〔参加者交流会イメージ〕



# 中小企業の人材確保に向けた奨学金返還支援事業【新規】　　６月補正予算額　20,000千円

担　当　課：商工労働部雇用労働課
問い合せ先：０４３－２２３－２７４０

## 概要

**県では、中小企業の人材確保・定着に向けた支援として、企業と若者のマッチングに向けた交流イベントや、働きやすい職場環境の整備等、様々な取組を行っているところですが、新たに、従業員の奨学金返還を支援する中小企業等を対象とした補助制度を創設し、県内中小企業等の人材確保・定着を一層促進するとともに、若者の負担軽減を図ります。**

### 補助対象

以下①～③の要件を満たす従業員の奨学金の返還を支援している中小企業等
①正社員として勤務し奨学金を返還中であること
②申請年度の４月１日時点で正社員となって６年以内であること
③県内居住かつ県内の事業所に勤務していること

### 対象奨学金

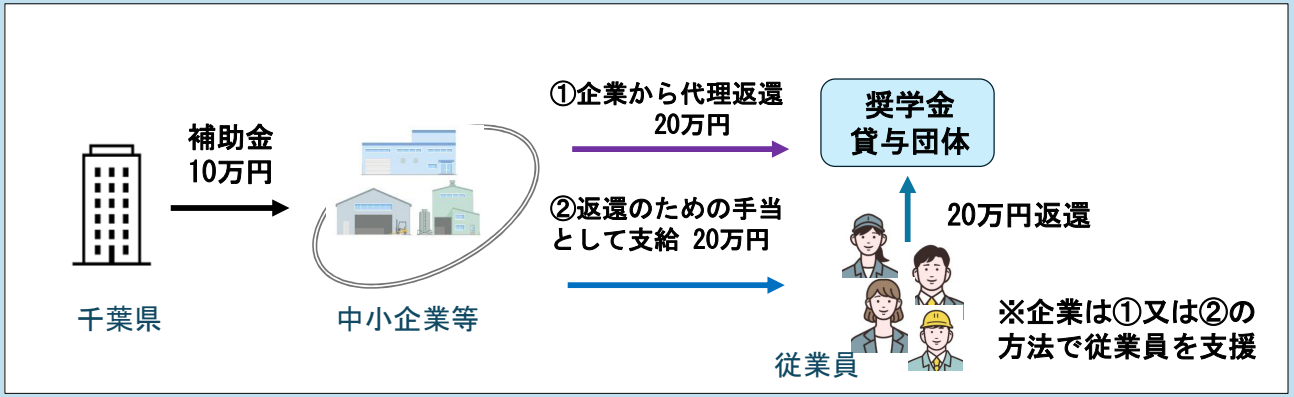
独立行政法人日本学生支援機構及び地方公共団体、大学、公益法人、民間企業等の貸与奨学金

### 補助率・上限額等

補 助 率：企業が従業員に支援する額の１/２
上限額等：従業員一人につき１００千円/年まで
　　従業員一人につき６年間まで
　　企業一社あたり従業員５人まで

### 補助スキームのイメージ

［企業が従業員の奨学金返還を年20万円支援している場合］



# 働く若者・現役世代応援事業【新規】

６月補正予算額　50,585千円

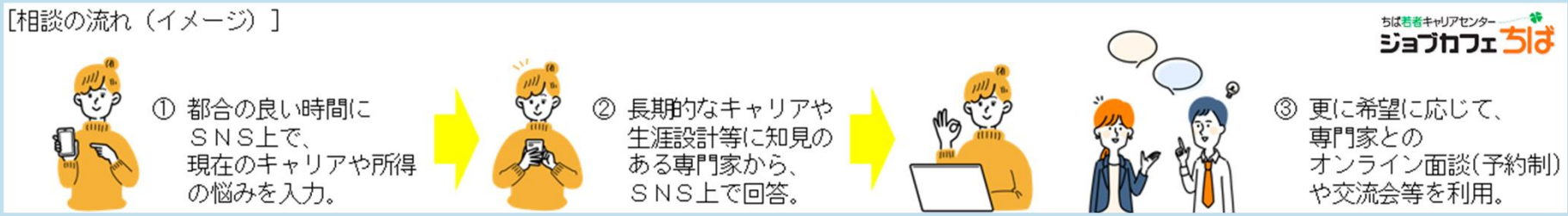
## 概要

担　当　課：商工労働部雇用労働課
問い合せ先：０４３－２２３－２７４０

**著しく変化する社会情勢下において、働く若者や就職氷河期世代を含む現役世代の方が抱える、キャリアや所得、安定した就労等に関する悩みや課題に対する支援を通じて、それぞれが描く将来に向けたステップアップを応援します。**

### １　働く若者のステップアップ応援事業　30,000千円

将来のキャリアや所得への不安を抱え、ステップアップを目指したい若者に向けて、ジョブカフェちばにＳＮＳを用いた相談窓口を開設し、専門家による相談支援を行います。また、同じ悩みを持つ若者同士が共に学び、つながりを持つことのできる交流会を含むセミナーなどを開催し、働く若者を応援します。

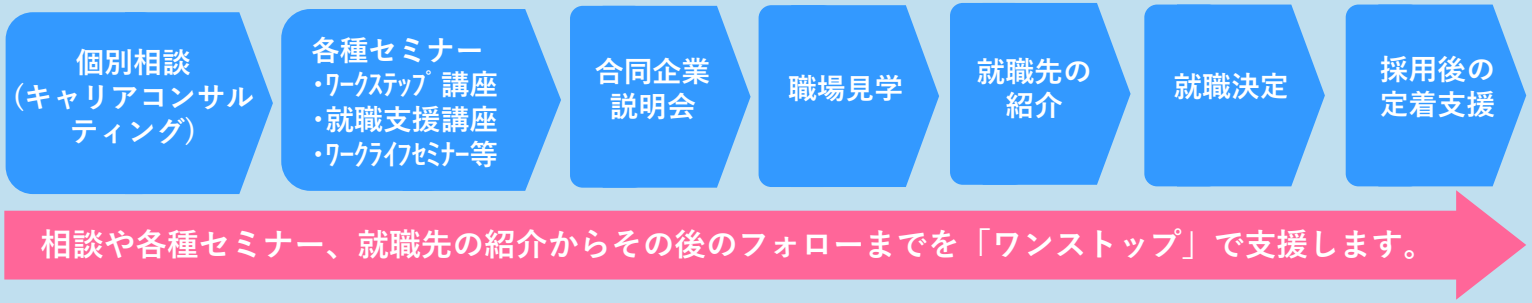



### ２　ミドル世代活躍支援事業　20,585千円

就職氷河期世代を含むミドル世代の安定した就労を促進するため、千葉県ジョブサポートセンターにおいて、求職者の状況に応じた就労相談や就職先の紹介、ライフプラン等に関するセミナーの開催など、きめ細かな就労支援を行います。

また、ミドル世代を受け入れる企業の求人を開拓するとともに、求職者とのマッチング支援や、採用・定着に向けた企業支援などを行い、ミドル世代が県内で活躍できる基盤づくりに取り組みます。

ジョブサポちば
Chiba Job Support Center



# 千葉の自然を活用した観光地域づくり促進事業【新規】　　６月補正予算額　250,000千円

## 概要

担　当　課：商工労働部観光政策課
問い合せ先：０４３－２２３－３４９２

**豊かな自然を活用した魅力ある観光地づくりを促進するため、国の交付金を活用し、市町村や観光関係団体、民間事業者など、多様な主体と連携しながら、地域のブランディングや観光コンテンツの開発、観光客の利便性向上に向けた取組などを推進します。**
**令和７年度は、養老渓谷温泉郷において、ナイトタイムエコノミーの活性化や交通利便性の向上などの取組を実施します。**

**〇養老渓谷温泉郷について**
千葉県には温泉地が84か所あり、全国10位を誇っています。その中でも、養老渓谷温泉郷は山や渓流に囲まれた自然豊かな美しい景観のほか、白湯・黒湯の2つの泉質を楽しむことができます。また、風情ある老舗温泉宿が多くあり、モダンで洗練された宿泊施設も新規開業するなど、温泉地としてのポテンシャルが高い地域です。

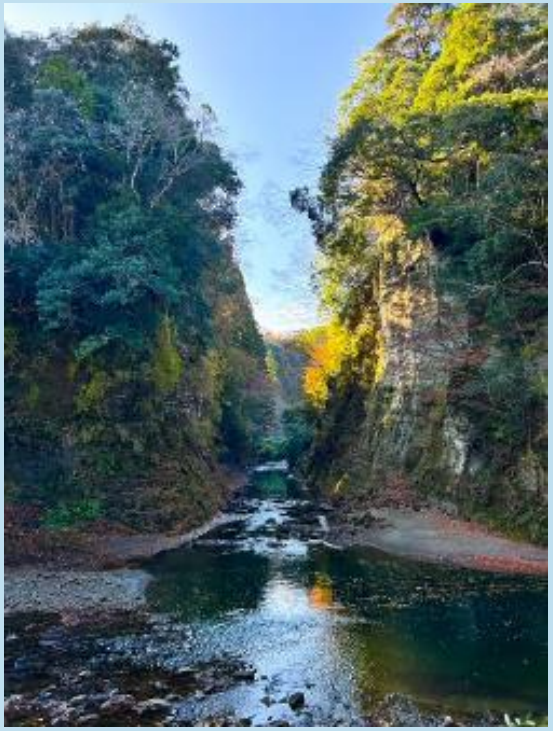
**１　地域の合意形成や事業検討・効果検証　15,000千円**
事業の詳細検討や投資効果の検証、検証結果に基づく事業内容の磨き上げ等に関する基礎調査を実施するとともに、地域の事業者や自治体を含めた合意形成の場としての協議体を立ち上げます。

**２　新たなコンテンツの造成に向けた実証　185,000千円**
ナイトタイムコンテンツをはじめ、紅葉シーズンや夏休み期間以外にも、1年を通じて楽しむことができ、長時間滞在につながるコンテンツの造成に向けた実証を行います。

**３　交通利便性の向上に向けた調査・実証　50,000千円**
周辺地域からのアクセス向上につながる新たな交通手段を検討するとともに、観光客の養老渓谷域内での周遊を促進するための域内モビリティの導入実証を行います。

養老渓谷随一の景観を誇る粟又の滝

宿泊客に人気の黒湯


そびえたつ絶壁が圧巻の弘文洞跡

# 新規就農者等に対する資金支援

６月補正予算額　138,500千円
（当初予算とあわせ　789,604千円）
（R6当初　794,704千円）

担　当　課：農林水産部担い手支援課
問い合せ先：０４３－２２３－２９０４

## 概要

**新規就農者（親からの事業継承を含む）がスムーズに経営を継承・発展できるよう、円滑な経営移譲に向けた取組や機械・施設等の導入を一体的に支援します。**

対象者：令和４年４月以降に農業経営を開始し、地域計画に位置付けられる（又は位置づけられることが確実と見込まれる）４９歳以下の認定新規就農者、認定農業者

支援額：国費上限6,000千円

### １　経営発展に向けた取組　127,500千円

農業用機械・施設等の導入・リース等に要する経費に対し、補助を行います。

【補 助 率】3/4以内（国1/2以内、県1/4以内）

【対象経費】トラクター、収穫機、選別機等の機械の導入に係る費用、
パイプハウス等の施設の導入に係る費用等

### ２　経営資源の有効利用に向けた取組　10,000千円

農業機械・施設等の経営資源を交付対象者が継承・利用するために必要となる修繕、移設、撤去等の取組に要する経費に対し、補助を行います。

【補 助 率】2/3以内（国1/3以内、県1/3以内）

【対象経費】農業用機械の修繕に係る費用、
パイプハウス等の修繕、移設、撤去等に係る費用等

### ３　円滑な経営移譲に向けた取組　1,000千円

農業経営の移譲に向けた取組に対する経費に対し、補助を行います。

【補 助 率】2/3以内（国1/3以内、県1/3以内）

【対象経費】定款の認証料等の法人設立に係る費用
法人化に向けた専門家の活用に係る費用等

# 農業参入促進農地整備モデル事業【新規】

６月補正予算額　10,000千円

担　当　課：農林水産部農地・農村振興課
問い合せ先：０４３－２２３－２８７８

## 概要

**農業参入を希望する企業による遊休農地等の整備（耕作に適した農地にするための整備）に必要な経費を補助する市町村に対し、補助した額の一部を県が補助（間接補助）することにより、遊休農地問題の解消や企業参入の契機としての有効性、県と市町村の連携による企業の受け皿機能の強化について実証するモデル事業を実施します。**

**【事業主体】**農業参入を希望する企業等

**【補 助 率】**1/4以内（ただし、市町村が県と同額以上補助する場合に限る）

**【補助要件】**・田又は１号遊休農地を50%以上含む、1ha 以上のまとまった土地であること

・以下の対象品目について、５年以上耕作をすること　等

①最優先品目※1　（いちご、メロン、切花、さつまいも、なし）

②優先品目※2　（ねぎ、にんじん、トマト）

※1最優先品目：R5 に実施した調査事業で輸出ポテンシャルがあるものとされた品目

※2優先品目：千葉県農林水産業振興計画において、強化品目として位置付けられた品目

**【補助対象】**耕作に適した土地へ改良するために必要な経費

（整地工、客土工※、法面整形工 等）※ 土購入費は対象外

**【補助上限】**１件当たり5,000千円

**【実施期間】**令和７年度から令和９年度まで

**≪1号遊休農地≫**

**現に耕作の目的に供されておらず、かつ、引き続き耕作の目的に供されないと見込まれる農地**

軽度（緑区分）　←　荒廃程度により細分化　→　中度（黄区分）

軽度荒廃イメージ

中度荒廃イメージ

# 千葉県有害鳥獣捕獲協力隊事業【一部新規】

６月補正予算額　10,000千円
（当初予算とあわせ　16,398千円）
（R6当初　7,700千円）

担　当　課：環境生活部自然保護課
問い合せ先：０４３－２２３－２９７５

## 概要

**有害鳥獣捕獲の新たな担い手確保等を目的に実施している「千葉県有害鳥獣捕獲協力隊事業」について、一定の捕獲活動経験者等を対象に、参加隊員が自ら主体となった捕獲を行う「捕獲コース」を新設し、より実践的な捕獲技術の習得と、市町村捕獲事業への参画拡大を目指します。**

**〇千葉県有害鳥獣捕獲協力隊事業 10,000千円（当初予算とあわせ 16,398千円）**

| 種　類 | コース | |
|---|---|---|
| 参加隊員 | **捕獲コース【R7新設】** | **狩猟免許（わな猟）を取得し、かつ、一定の捕獲活動や狩猟の経験のある方を対象に、自らが主体となった捕獲を行うことで、より実践的な捕獲技術を習得していただきます。** |
| | 実践コース | 狩猟免許（わな猟）を取得したものの、なかなか狩猟を行えていない方を対象に、見学ツアーや捕獲現場への同行により、狩猟に必要な知識や実践的な技術を習得していただきます。 |
| | 疑似体験コース | オンライン等で狩猟の疑似体験をしていただきます。狩猟免許をお持ちでない方でも参加できます。 |
| 支援隊員 | 千葉県が抱える有害鳥獣の問題に共感いただける方、千葉県の取り組みを応援いただける方などからの寄附（ふるさと納税(※)）を募集します。<br>※ 県外在住者には返礼品として、県内で捕獲された鳥獣の肉や革製品等を送付します。 | |

【くくり罠の設置】

【捕獲個体の止めさし・解体】

※写真は令和６年度の実践コースより

# 家畜伝染病対策緊急強化事業【新規】

**６月補正予算額　70,000千円**

担　当　課：農林水産部畜産課
問い合せ先：０４３－２２３－２９２９

## 概要

**令和７年１月～３月に発生した高病原性鳥インフルエンザ等を踏まえて、発生の予防に効果的な対策を協議する検討会等を開催するとともに、養鶏事業者が取り組む先進的な発生予防策を支援するほか、県の防疫作業の効率化等に向けて資機材の増強を図ります。**

### １　発生予防や防疫作業に関する検討会・研修会等の開催　3,000千円

疫学調査結果を踏まえた効果的な対策の検討及び発生の予防等に関する研修等を国、県、有識者、畜産団体、協定締結済み民間事業者を交えて行います。

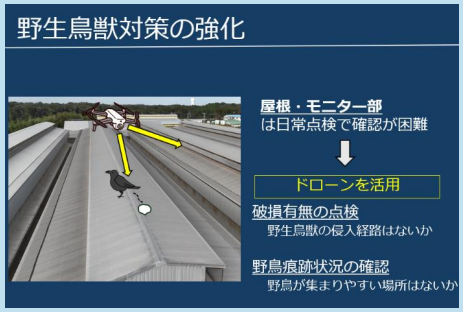
〔検討・研修会〕

### ２　養鶏事業者が行う発生防止対策への支援　20,000千円

県内の養鶏事業者が行う、国の飼養衛生基準を上回る先進的な発生予防対策に要する経費の一部に対して補助を行います。

［対 象 者］養鶏事業者で構成される地域協議会等
［補 助 率］1/3
［対象機器］関係者・関係団体等による検討会での意見等を踏まえ、
効果が見込まれるもの

〔点検用ドローン〕




### ３　県の防疫資機材の増強　47,000千円

県内で多発する鳥インフルエンザの防疫体制を強化するため、殺処分を迅速かつ大量に行えるよう、コンテナやキャスターケージなどを導入し、防疫資機材の増強を図ります。

〔コンテナ〕

〔キャスターケージ〕

# 漁業の担い手確保・育成総合対策事業【一部新規】

６月補正予算額　71,854千円
（当初予算と合わせ　244,574千円）
（R6当初　94,546千円）

担　当　課：農林水産部水産局水産課
問い合せ先：０４３－２２３－３０４１

## 概要

**漁業の担い手を確保するため、市町村や水産関係団体と連携し、「千葉県海洋人材確保・育成センター（※）」等において、漁業体験・研修、リース方式による漁船・漁具の導入支援、海技士免許取得支援など事業の拡充を図り、新規漁業就業者確保・育成に係る各種施策を総合的に行います。**

※４月に設置した就業希望者が就業相談から独立するまでの伴走型の支援を行うワンストップ窓口

**１　漁業の紹介・就業ＰＲ動画の作成　2,400千円**

県内の漁業の魅力を伝えるため、漁業種類ごとにＰＲ動画を制作し、ＳＮＳ等の様々な媒体を通じた情報発信を行います。

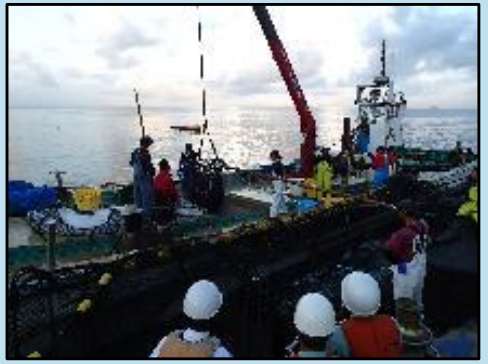
**２　漁業就業体験の実施　9,514千円**

就業希望者が漁業への適性を判断するため、漁業の一通りの業務が経験できる１カ月以内の漁業就業体験を実施します。

**３　長期漁業技術研修の実施　13,440千円**

新規就業者を対象に、最長２年間の長期漁業技術研修を実施します。

〔漁業体験の様子〕



〔支援制度を活用した就業者〕

**４　漁業独立支援事業　45,300千円**

新たに独立しようとする漁業者を対象に独立に必要な漁船・漁具のリース方式による導入を支援します。

［補助率］3/4以内

**５　海技士技能訓練実施支援事業　1,200千円**

大型漁船の漁業者が海技士免許取得のために受講する技能訓練に要する経費及び海技士試験の受験料に対して助成を行います。

［補助率］1/2以内、定額

# 水産系高校魅力化アドバイザー事業【新規】　　６月補正予算額　11,000千円

担　当　課：教育庁教育振興部教育政策課
問い合せ先：０４３－２２３－４０２６

## 概要

**県内水産業の担い手を育成するため、水産系高校の魅力向上や遠隔地からの生徒受入れに向けた検討を進めるにあたって、地元市町村、企業等との連携支援や有効な対策の提案等を行う専門人材を配置します。**

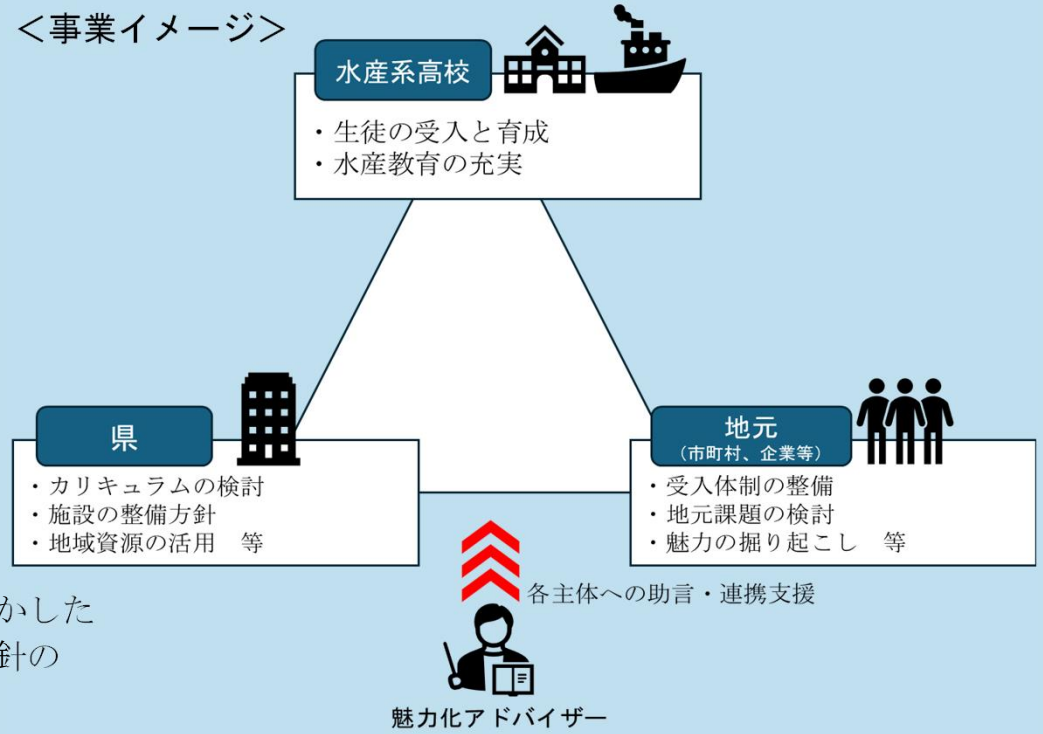
**〇水産系高校魅力化アドバイザーの配置　11,000千円**

学校の魅力向上や遠隔地からの生徒受入体制整備に精通した人材を「水産系高校魅力化アドバイザー」として配置し、地域の連携・協働を推進するとともに、アドバイザーによる地域課題の抽出や地域資源の掘り起こしを踏まえ、水産系高校の魅力向上や遠隔地からの受入体制の検討を進めます。

［水産系高校］
- 県立銚子商業高等学校（海洋科）
- 県立大原高等学校（総合学科 海洋科学系列）
- 県立館山総合高等学校（海洋科）

［アドバイザーの役割］
- 県教育委員会や学校、地元自治体、企業等との連携支援やコンソーシアム設置支援など、地域の連携・協働を促進します。
- 学びの魅力向上や遠隔地からの生徒受入に関する他自治体での事例をもとに、具体的な提案を行います。
- 地域課題の抽出、地域資源の掘り起こしを行い、地域資源を生かした学びの特色化に伴うカリキュラム検討支援、実習施設の整備方針の検討支援などを行います。

＜事業イメージ＞



# 「おいしい！千葉の農林水産物」プロモーション事業

６月補正予算額　11,000千円
（当初予算とあわせ　151,152千円
（R6当初　145,454千円）

担　当　課：農林水産部販売輸出戦略課
問い合せ先：０４３－２２３－３０８９

## 概要

**県内外の消費者に向けて、県産農林水産物の魅力を一層発信するため、「千葉県の顔」となる品目（日本なし、さつまいも 等）を核とした集中プロモーションを行い、消費者に選ばれるおいしい千葉の農林水産物としてのイメージアップに取り組んでいます。**

**新たに県産豚肉の魅力を発信するためのプロモーションを進めるほか、著名なレストランやホテルのシェフ等を対象とした産地ツアーを行い、食の専門家の視点で県産農林水産物の魅力の発見・発信を行います。**

〔加工品イメージ〕

### １　県産豚肉加工品のプロモーション　5,000千円

本県の養豚は飼養戸数、産出額ともに全国トップクラスであり、多数の美味しい銘柄豚肉がありますが、流通過程で銘柄の価値が埋もれてしまう部位を活用した加工品について、統一感のあるブランドづくりに向けて、テスト販売等を実施し、県産豚肉の高付加価値化に向けた取組を進めます。

〔産地ツアーイメージ〕

### ２　著名なレストランやホテルのシェフ等を対象とした産地ツアー　6,000千円

県内の生産地を視察する「産地ツアー」を実施し、食の専門家が掘り起こした県産農林水産物の新たな魅力を、多様なメディアを通じて発信します。

チーバくん

# 国際園芸博覧会出展事業【新規】

**６月補正予算額　30,000千円**
**（債務負担行為　8,000千円）**

担　当　課：①農林水産部生産振興課・②県土整備部公園緑地課
問い合せ先：①０４３－２２３－４５３２（出展に係る全般的事項について）
②０４３－２２３－３９９５（屋外出展に係る基盤整備について）

## 概要

国際的な園芸・造園の振興や花と緑のあふれる暮らし、地域・経済の創造や社会的な課題解決への貢献を目的に各国で開催されている国際園芸博覧会が２０２７年に横浜市で開催予定となっています。本県の花植木をはじめとした豊かな自然や地域の魅力を国内外に発信するため、出展に向けて必要な準備を進めます。

**「２０２７年国際園芸博覧会」の概要**
開催場所：旧上瀬谷通信施設の一部（神奈川県横浜市、約100ha）
開催期間：2027年（令和9年）3月19日（金）～9月26日（日）192日間
参加者数：1500万人（見込み）
テーマ　：「幸せを創る明日の風景」

©Expo 2027

公式マスコットキャラクター
トゥンクトゥンク

**１　出展内容について関係者と調整するための経費　1,500千円**

出展内容等について、関係者（市町村、生産者団体や学識経験者等）と協力しながら検討を進めます。

**２　屋外出展に係る経費　28,500千円**

屋外展示に際し、本県の展示を代表するシンボルツリーの確保など、樹木の購入費や会場への移植に向けた準備（根巻き加工、維持管理など）や展示エリアの基盤整備に係る基本設計・実施設計等を進めます。

**＜出展内容（予定）＞**

（１）**屋外出展**：敷地面積300㎡に、庭園や花壇などを展示します。
（２）**屋内出展**：全期間出展及び短期間出展のそれぞれで、時期に合わせた県産の多種多様な花き等を展示します。
①　**全期間出展**：会期中（3月19日～9月26日）の展示
②　**短期間出展**：「3-4月」、「5月」、「6月」のうち各9日間の展示

**※出典内容等は今後変更となる場合があります。**

**（シンボルツリーのイメージ）**

**（屋内出展のイメージ）**